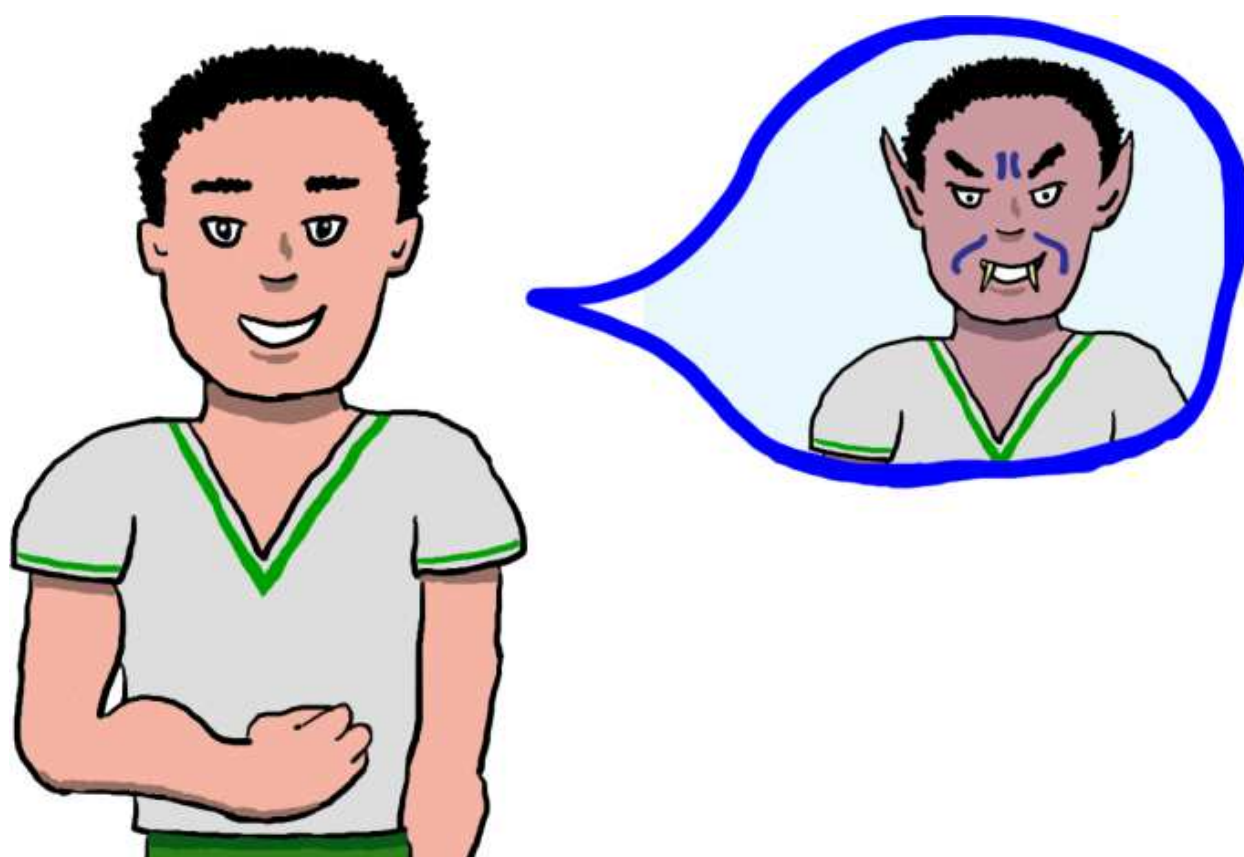


罰は再犯 を生む



東郷 潤

あるところに、自分を悪人だと信じている人がいます。

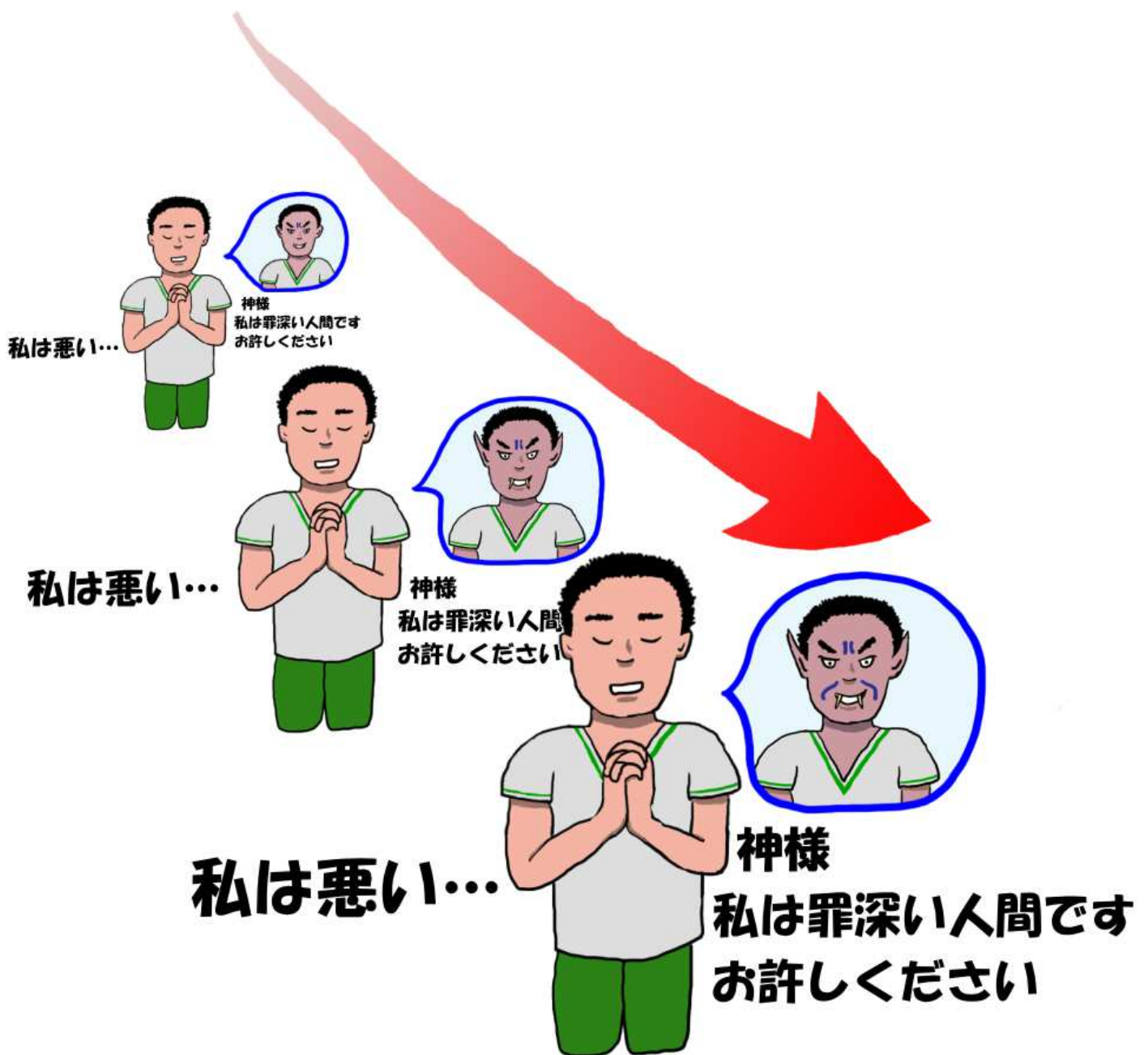


彼はなぜこんな、ひどい自己イメージを持っているのでしょうか？

もしかすると「悪い子！」と子供のころから叱られ続けてきたのかもしれない。



あるいは宗教的な錯覚で、「自分は悪人だ」という自己暗示を長年続けて来たのかもしれませんが。



いずれにしろ自分を悪人だと思ふ人が
「悪いこと」をするのは、とても自然
なことです。



さて「悪いこと」をしていれば、逮捕
されることもあるでしょう。



この悪党め！

あらいざらい、
とっとと吐け！



**犯行は悪質であり、
同情の余地はない。**



**根っからの
悪人だな**

この悪人め



数年後、刑期が満了し出所しました。
自分を悪人だと思ふ人が、悪いことを
するのは、ごく自然なことです。彼は
すぐまた犯罪を実行しました。

泥棒～～！！



もし罰が、悪なる自己イメージを強めるなら、それは次の犯罪の原因となるでしょう。時に、より深刻な・・・

死ね！



あとがき

もし、あなたがこの絵本に共感されたなら、他の方にも読ませてあげていただければと思います。

本絵本は、自由にコピーして下さって結構です（商業出版はじめ金銭的な授受を伴う場合を除きます）。また下記WEBからは、東郷潤の他の絵本やメッセージをダウンロードすることが出来ます。

www.j15.org

©Jun Togo 2017